資料８－１

メパニピリム（案）

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しについて、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

１．概要

（１）品目名：メパニピリム［ Mepanipyrim(ISO) ］

（２）用途：殺菌剤

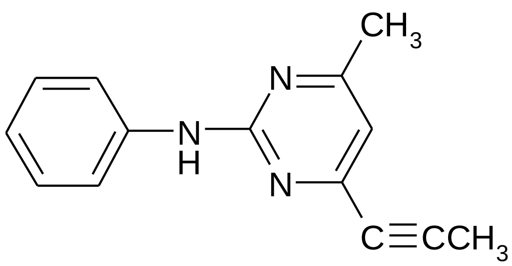
アニリノピリミジン系の殺菌剤である。病原菌体のタンパク分泌を抑制し、菌体細胞内に蓄積させる作用及びアミノ酸やグルコース等の菌体への取込み阻害により、胞子の発芽管伸長を阻害し、その後の付着器の形成、宿主への侵入に至る病原菌の感染行動を阻害して抗菌作用を示すと考えられている。

（３）化学名

N-(4-Methyl-6-prop-1-ynylpyrimidin-2-yl)aniline（IUPAC）

4-Methyl-*N*-phenyl-6-(1-propynyl)-2-pyrimidinamine（CAS）

（４）構造式及び物性



分子式	$C_{14}H_{13}N_3$
分子量	223.27
水溶解度	3.10 mg/L（20°C）
分配係数	$\log_{10}$Pow = 3.28（20°C、pH 6.7）

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

$\boxed{\text{作物名}}$となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

（１）国内での使用方法

①　40.0%メパニピリムフロアブル

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用
方法</th><th>ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>かんきつ</td><td>灰色かび病</td><td>2000～
3000 倍</td><td rowspan="9">200～
700 L
/10 a</td><td>開花期～幼果期
ただし、収穫 90
日前まで</td><td>2 回
以内</td><td rowspan="17">散布</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">りんご</td><td>黒星病</td><td>4000～
6000 倍</td><td rowspan="3">収穫 21 日前まで</td><td rowspan="4">5 回
以内</td><td rowspan="4">5 回以内</td></tr>
<tr><td>斑点落葉病</td><td rowspan="3">2000 倍</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>黒星病</td></tr>
<tr><td>もも</td><td>灰星病
黒星病</td><td>収穫前日まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ぶどう</td><td>灰色かび病</td><td>2000～
3000 倍</td><td rowspan="2">開花期～幼果期
ただし､収穫 30 日
前まで</td><td rowspan="2">2 回
以内</td><td rowspan="2">2 回以内</td></tr>
<tr><td>うどんこ病</td><td>2000 倍</td></tr>
<tr><td>かき</td><td>うどんこ病
灰色かび病</td><td rowspan="2">2000～
3000 倍</td><td>収穫 14 日前まで</td><td>5 回
以内</td><td>5 回以内</td></tr>
<tr><td>びわ</td><td rowspan="3">灰色かび病</td><td>収穫 7 日前まで</td><td>3 回
以内</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>あずき</td><td>2000 倍</td><td rowspan="8">100～
300 L
/10 a</td><td rowspan="2">収穫 14 日前まで</td><td rowspan="2">5 回
以内</td><td rowspan="2">5 回以内</td></tr>
<tr><td>いんげん
まめ</td><td>2000～
3000 倍</td></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td>小菌核腐敗
病</td><td>2000 倍</td><td>収穫 7 日前まで</td><td rowspan="6">4 回
以内</td><td rowspan="6">4 回以内</td></tr>
<tr><td>きゅうり</td><td>褐斑病
灰色かび病
うどんこ病</td><td rowspan="2">2000～
3000 倍</td><td rowspan="5">収穫前日まで</td></tr>
<tr><td>すいか
メロン
かぼちゃ</td><td>うどんこ病</td></tr>
<tr><td>ミニトマト
トマト</td><td>灰色かび病</td><td rowspan="2">2000～
3000 倍</td></tr>
<tr><td>なす</td><td>うどんこ病
灰色かび病</td></tr>
<tr><td>ピーマン</td><td>うどんこ病</td><td>2000 倍</td></tr>
</table>

① 40.0%メパニピリムフロアブル（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用
方法</th><th>ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">いちご</td><td rowspan="2">うどんこ病</td><td>2000～
3000 倍</td><td>100～
300 L
/10 a</td><td rowspan="3">収穫前日まで</td><td rowspan="5">3 回
以内</td><td>散布</td><td rowspan="5">3 回以内</td></tr>
<tr><td>50 倍</td><td>5 L/10
a</td><td>常温
煙霧</td></tr>
<tr><td rowspan="3">灰色かび病</td><td>2000～
3000 倍</td><td>100～
300 L
/10 a</td><td rowspan="3">散布</td></tr>
<tr><td>マンゴー</td><td rowspan="2">2000 倍</td><td>200～
700 L
/10 a</td><td>収穫 14 日前まで</td></tr>
<tr><td>ラズベリー</td><td>100～
300 L
/10 a</td><td>収穫前日まで</td></tr>
</table>

② 20.0%メパニピリム・2.0×10^{10}CFU/gバチルス ズブチリス水和剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを 含む農薬の 総使用回数
きゅうり	うどんこ病	2000 倍	100～ 300 L /10 a	収穫前日まで	4 回 以内	散布	4 回 以内

③ 20.0%メパニピリム・20.0%ピリベンカルブ顆粒水和剤

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用
方法</th><th>ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>きゅうり</td><td>うどんこ病
灰色かび病</td><td rowspan="3">2000 倍</td><td rowspan="3">100～
300 L
/10 a</td><td rowspan="3">収穫前日まで</td><td rowspan="3">3 回
以内</td><td rowspan="3">散布</td><td rowspan="2">4 回以内</td></tr>
<tr><td>ミニトマト
トマト</td><td>灰色かび病</td></tr>
<tr><td>いちご</td><td>うどんこ病
灰色かび病</td><td>3 回以内</td></tr>
</table>

④　20.0%メパニピリム・1.8%フルチアニルフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを含む農薬の総使用回数
きゅうり なす	うどんこ病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内
いちご							3回以内

⑤　15.0%メパニピリムくん煙剤

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを含む農薬の総使用回数
きゅうり	温室、ビニールハウス等密閉できる場所	灰色かび病 うどんこ病	くん煙室容積500 m^3（床面積250 m^2×高さ2 m）当り50 g(1錠)	収穫前日まで	4回以内	くん煙（通常10～15時間）	4回以内
いちご					3回以内		3回以内
ぶどう		灰色かび病		収穫30日前まで	2回以内		2回以内
みかん				開花期～幼果期（ただし、収穫90日前まで）			

⑥　13.3%メパニピリム・56.0%チオファネートメチル顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを含む農薬の総使用回数
あずき	炭疽病 灰色かび病	1000倍	－	収穫14日前まで	4回以内	散布	5回以内
	菌核病	800～1000倍					
いんげんまめ	炭疽病 灰色かび病 菌核病	1000倍					

⑥　13.3%メパニピリム・56.0%チオファネートメチル顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを 含む農薬の 総使用回数
きゅうり トマト ミニトマト なす	灰色かび病 菌核病	1500倍	100～ 300 L /10 a	収穫 前日まで	4回 以内	散布	4回以内
レタス				収穫 7 日前まで	2 回 以内		2 回以内

⑦　10.0%メパニピリム・43.7%ジラム・26.3%チウラム水和剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを 含む農薬の 総使用回数
りんご	黒星病 斑点落葉病 黒点病 赤星病 うどんこ病 すす点病 すす斑病 褐斑病 炭疽病	1000 倍	200～ 700 L /10 a	収穫 45 日前まで	5 回 以内	散布	5 回以内
なし	黒星病 黒斑病 赤星病						

⑧　10.0%メパニピリム・8.0%ペンチオピラドフロアブル

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを 含む農薬の 総使用回数
きゅうり トマト ミニトマト	灰色かび病 うどんこ病	1000 倍	100～ 300 L /10 a	収穫前日まで	3 回 以内	散布	4 回以内
いちご							3 回以内

⑨　0.020%メパニピリム・0.010%フェンプロパトリン・0.0080%クロチアニジンスプレー剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを 含む農薬の 総使用回数
きゅうり	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 うどんこ病	原液	収穫前日まで	3回 以内	散布	4回以内
なす	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ﾊﾀﾞﾆ類 ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 うどんこ病					
トマト	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ｺﾅｼﾞﾗﾐ類 ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 灰色かび病					

⑩　0.020%メパニピリム・0.010%フェンプロパトリンスプレー剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑを 含む農薬の 総使用回数
きゅうり	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 うどんこ病	原液	収穫 前日まで	4回 以内	散布	4回以内
なす	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類					
トマト				3回 以内		

３．作物残留試験

（１）分析の概要

①　分析対象の化合物

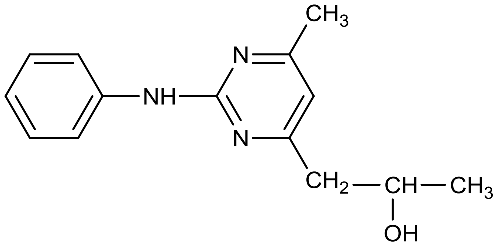
・メパニピリム

・1-(2-アニリノ-6-メチルピリミジン-4-イル)-2-プロパノール（以下、メパニピリムプロパノール体という）

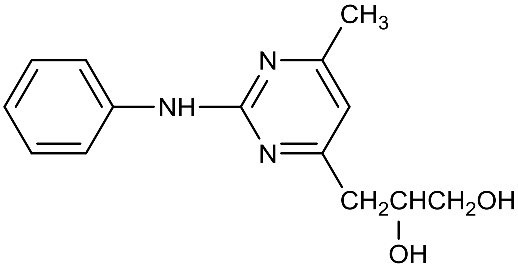
・3-(2-アニリノ-6-メチルピリミジン-4-イル)-1,2-プロパンジオール（以下、代謝物M-36という）

・2-(4-メチル-6-プロパ-1-イニルピリミジン-2-イルアミノ)フェノール（以下、代謝物M-37という）

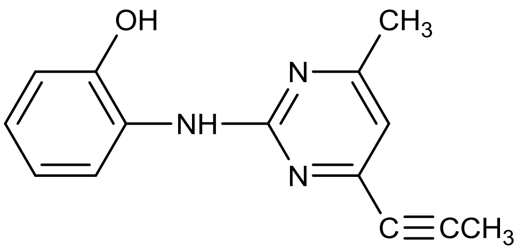
なお、メパニピリムプロパノール体、代謝物 M-36 及び M-37 にはそれぞれの抱合体を含める。



メパニピリムプロパノール体



代謝物 M-36



代謝物 M-37

② 分析法の概要

試料からアセトンで抽出し、βグルコシダーゼ及びセルラーゼを用いて酵素処理後、ジクロロメタンに転溶する。シリカゲルカラムで精製した後、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ(HPLC-UV)又は高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ（GC-NPD）で定量する。

または、試料からアセトン又はアセトニトリルで抽出し、βグルコシダーゼ及びセルラーゼを用いて酵素処理する。C_{18} カラム、グラファイトカーボン及び NH_2 カラムで精製、又は、酢酸エチルに転溶し、グラファイトカーボン・NH_2 積層カラムで精製した後、HPLC-UV 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計(LC-MS/MS)で定量する。

定量限界：メパニピリム　0.002～0.2 ppm
メパニピリムプロパノール体
0.005～0.2 ppm(メパニピリム換算、換算係数 0.92)
代謝物 M-36　0.004～0.01 ppm(メパニピリム換算、換算係数 0.86)
代謝物 M-37　0.005～0.01 ppm(メパニピリム換算、換算係数 0.93)

（２）作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1 を参照。

４．ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号及び第 2 項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたメパニピリムに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（１）ADI

無毒性量：7.34 mg/kg 体重/day
(動物種) ラット
(投与方法) 混餌
(試験の種類) 慢性毒性／発がん性併合試験
(期間) 2 年間
安全係数：100
ADI：0.073 mg/kg 体重/day

ラットを用いた 2 年間慢性毒性／発がん性併合試験では、雌で肝細胞腺腫の増加が認められ、マウスを用いた発がん性試験では、雌雄で肝細胞腺腫及び肝細胞癌の増加が認められたが、メカニズム試験及び遺伝毒性試験の結果から、腫瘍発生機序は遺伝毒性メカニズムによるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

（２）ARfD

無毒性量：400 mg/kg 体重
(動物種) ラット
(投与方法) 経口
(試験の種類) 急性神経毒性試験
安全係数：100
ARfD：4 mg/kg 体重

５．諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国でぶどう、いちご等に、EU においてトマト、なす等に基準値が設定されている。

６．基準値案

（１）残留の規制対象

メパニピリム及びメパニピリムプロパノール体（抱合体を含む）とする。

作物残留試験において、メパニピリム、メパニピリムプロパノール体、代謝物 M-36 及び代謝物 M-37 の分析が行われている。メパニピリムプロパノール体は、一部の作物

においてメパニピリムを上回る残留量であったことから、規制対象に含めることとする。代謝物 M-36 及び代謝物 M-37 は一部の作物で定量限界を超えて検出しているものの、メパニピリムと比較して低い残留量であることから規制対象に含めないこととする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においては、農産物中の暴露評価対象物質としてメパニピリム（親化合物のみ）を設定している。

（２）基準値案

別紙２のとおりである。

（３）暴露評価

① 長期暴露評価

１日当たり摂取する農薬等の量の ADI に対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙３参照。

	TMDI／ADI(%)注)
一般(1 歳以上)	17.9
幼小児（1～6 歳）	42.2
妊婦	20.2
高齢者（65 歳以上）	20.6

注）各食品の平均摂取量は、平成 17 年～19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI 試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量(ESTI)を推定したところ、一般（1 歳以上）及び幼小児（1～6 歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない注)。詳細な暴露評価は別紙 4-1 及び別紙 4-2 参照。

注）基準値案を用い、平成 17～19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成 22 年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTI を推定した。

（４）本剤については、平成 17 年 11 月 29 日付け厚生労働省告示第 499 号により、食品一般の成分規格 7 に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

メパニピリム作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件 剤型	試験条件 使用量・使用方法	試験条件 回数	試験条件 経過日数	最大残留量（ppm）注1）	各化合物の残留量（ppm） 【ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑ/ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑﾌﾟﾛﾊﾟﾉｰﾙ体/代謝物M-36/代謝物M-37】
あずき （乾燥子実）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 200 L/10 a	5	14, 21, 28	圃場A：0.14	圃場A：0.123/*0.048/-/- (*5回, 21日)注2)
						圃場B：0.08	圃場B：0.076/*0.028/-/- (*5回, 21日)
いんげんまめ （乾燥子実）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 200 L/10 a	5	14, 21, 27	圃場A：0.07	圃場A：0.066/<0.005/0.006/-
						圃場B：0.02	圃場B：0.020/0.005/<0.004/-
レタス （茎葉）	2	13.3% 顆粒水和剤	1500倍希釈 散布 222-265, 256 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：1.05	圃場A：1.04/<0.01/-/-
						圃場B：0.89	圃場B：0.88/<0.01/-/-
葉ねぎ （茎葉）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 300, 117-200 L/10 a	4	*1*, *3*, *7*	圃場A：3.50	圃場A：3.46/0.047/-/-
						圃場B：0.31	圃場B：0.285/0.04/-/-
根深ねぎ （茎葉）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 300 L/10 a	4	*1*, *3*, *7*	圃場A：0.48	圃場A：0.430/0.050/-/-
						圃場B：2.62	圃場B：2.56/0.062/-/-
トマト （果実）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A：0.689	圃場A：0.680/0.011/*0.024/*0.086 (*4回, 7日)
			2000倍希釈 散布 250 L/10 a			圃場B：1.74	圃場B：1.73/*0.006/**0.013/0.146 (*4回, 3日)(**4回, 7日)
	4		2000倍希釈 散布 *400* L/10 a		1, 3, 7	圃場A：0.21(#)	圃場A：0.202/*0.031/-/- (*4回, 7日)(#)
						圃場B:0.21 (4回, 3日)(#)	圃場B：*0.204/0.013/-/- (*4回, 3日)(#)
						圃場C：0.815(#)	圃場C：0.808/0.007/*0.009/*0.022 (*4回, 3日)(#)
						圃場D：0.51(#)	圃場D：0.504/*0.007/*0.014/0.019 (*4回, 3日)(#)
ミニトマト （果実）	6	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 300 L/10 a	4	1, 3, 7, 14	圃場A：2.0	圃場A：1.97/<0.05/-/-
						圃場B：3.5	圃場B：3.43/<0.05/-/-
			2000倍希釈 散布 200 L/10 a		1, 7, 14	圃場C：0.36	圃場C：0.358/<0.005/-/-
						圃場D：2.45	圃場D：2.44/*0.006/-/- (*4回, 14日)
						圃場E：2.45	圃場E：2.44/*0.007/-/- (*4回, 7日)
						圃場F：0.72	圃場F：0.719/<0.005/-/-
ピーマン （果実）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 190-263, 202 L/10 a	4	1, 3, 7, 14	圃場A：1.38	圃場A：1.27/0.11/-/-
						圃場B：2.25	圃場B：2.12/0.13/-/-
なす （果実）	5	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 110-180 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A：0.47	圃場A：0.451/*0.092/-/- (*4回, 3日)
			2000倍希釈 散布 300 L/10 a			圃場B：0.93	圃場B：0.890/0.072/-/-
						圃場C：2.38	圃場C：2.320/0.059/<0.004/-
						圃場D：2.08(4回, 3日)	圃場D：*1.880/**0.231/**0.007/- (*4回, 3日)(**4回, 7日)
						圃場E：0.91	圃場E：0.822/*0.097/**0.007/0.005 (*4回, 3日)(**4回, 7日)
きゅうり （果実）	6	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 *400* L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A：0.17(#)	圃場A：0.160/0.012/-/- (#)
						圃場B：0.23(#)	圃場B：0.218/0.014/-/- (#)
						圃場C：0.399(#)	圃場C：0.392/0.007/0.013/- (#)
						圃場D：0.396(#)	圃場D：0.376/0.022/*0.018/- (*4回, 3日)(#)
						圃場E：0.43(#)	圃場E：0.422/*0.007/*0.011/<0.005 (*4回, 3日)(#)
						圃場F：0.54(#)	圃場F：0.533/<0.005/0.006/<0.005 (#)
	2	15.0% くん煙剤	製剤 くん煙 10 g/100 m^3	4	1, 3, 7	圃場A：0.03(#)	圃場A：*0.022/<0.01/-/- (*4回, 3日)
						圃場B：0.03(#)	圃場B：0.020/<0.01/-/-
かぼちゃ （果実）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 200, 300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A：0.62(4回, 7日)	圃場A：0.488/0.128/-/- (4回, 7日)
						圃場B：0.55	圃場B：0.512/0.097/-/-
すいか （果肉）	4	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 250, 220-273 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A：0.11(4回, 3日)	圃場A：*0.06/**0.06/-/- (*4回, 3日)(**4回, 7日)
						圃場B：0.15	圃場B：0.09/0.06/-/-
			2000倍希釈 散布 176-264, 278-280 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 28	圃場C：0.11(4回, 28日)	圃場C：0.07/*0.06/-/-(*4回, 28日)
						圃場D：0.13	圃場D：0.10/*0.05/-/- (*4回, 28日)
	2		2000倍希釈 散布 176-264, 278-280 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 28	圃場A：0.34	圃場A：0.32/*0.06/-/- (*4回, 28日)
						圃場B：0.52	圃場B：0.50/*0.03/-/-(*4回, 28日)
すいか （果皮）	2		2000倍希釈 散布 250, 220-273 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A：0.36	圃場A：0.32/0.04/-/-
						圃場B：0.93	圃場B：0.84/*0.10/-/- (*4回, 7日)
メロン （果肉）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 250, 350 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A：0.02	圃場A：0.008/0.015/-/-
						圃場B：<0.01	圃場B：<0.005/*0.006/-/- (*4回, 7日)
	2	*15.0%* *くん煙剤*	製剤 くん煙 10 g/100 m^3	4	1, 3, 7	圃場A<0.02 (4回, 1日)(#)	圃場A：<0.01/<0.01/-/- (4回, 1日)(#)
						圃場B：<0.02 (4回, 1日)(#)	圃場B：<0.01/<0.01/-/- (4回, 1日)(#)
温州みかん （果肉）	4	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 500 L/10 a	2	91, 122, 219	圃場A：0.029 (2回, 91日)	圃場A：0.024/<0.005/<0.004/- (2回, 91日)
					102, 135, 171	圃場B：<0.01 (2回, 102日)	圃場B：<0.005/<0.005/<0.004/- (2回, 102日)
			2000倍希釈 散布 700, 660 L/10 a		*60*, 75, 90	圃場C：<0.02	圃場C：<0.01/<0.01/-/-
						圃場D：<0.02	圃場D：<0.01/<0.01/-/-
	2	15.0% くん煙剤	製剤 くん煙 *20* g/100 m^3	2	*63*, 77, 91	圃場A：<0.01 (2回, 91日)(#)	圃場A：<0.005/<0.005/-/- (2回, 91日)(#)
					62, 76, 89	圃場B：<0.01 (2回, 89日)(#)	圃場B：<0.005/<0.005/-/- (2回, 89日)(#)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量（ppm）注1）	各化合物の残留量（ppm） 【ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑ/ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑﾌﾟﾛﾊﾟﾉｰﾙ体/代謝物M-36 /代謝物M-37】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
温州みかん （果皮）	4	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 500 L/10 a	2	91, 122, 219	圃場A：4.71 (2回, 91日)	圃場A：4.62/0.09/0.01/-（2回, 91日）
					102, 135, 171	圃場B：1.52 (2回, 102日)	圃場B：1.48/0.04/<0.01/-（2回, 102日）
			2000倍希釈 散布 700, 660 L/10 a		*60*, 75, 90	圃場C：5.7	圃場C：5.56/0.11/-/-
						圃場D：4.7	圃場D：4.57/0.11/-/-
	2	15.0% くん煙剤	製剤 くん煙 *20* g/100 m^3	2	*63*, 77, 91	圃場A：0.33 (2回, 91日)(#)	圃場A：0.32/0.01/-/-（2回, 91日）(#)
					62, 76, 89	圃場B：0.32 (2回, 89日)(#)	圃場B：0.31/0.01/-/-（2回, 89日）(#)
夏みかん （果肉）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 500 L/10 a	2	92, 119, 256	圃場A：0.029 (2回, 92日)	圃場A：0.024/<0.005/<0.004/-（2回, 92日）
					90, 120, 293	圃場B：0.013	圃場B：0.008/<0.005/<0.004/-
夏みかん （果皮）	2		2000倍希釈 散布 500 L/10 a	2	92, 119, 256	圃場A：1.55 (2回, 92日)	圃場A：1.54/<0.01/<0.01/-（2回, 92日）
					90, 120, 293	圃場B：0.84 (*2回, 120日)	圃場B：*0.830/<0.01/<0.01/-（*2回, 120日）
夏みかん （果実全体・計算値）	2		2000倍希釈 散布 500 L/10a	2	92, 119, 256	圃場A：0.460 (2回, 92日)	圃場A：0.453/<0.007/-/-（2回, 92日）
					90, 120, 293	圃場B：0.312 (2回, 120日)	圃場B：*0.305/<0.007/-/-(*2回, 120日）
かぼす （果実）	3	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 400 L/10 a	2	120, 135	圃場A：0.14 (2回, 120日)	圃場A：0.136/<0.005/-/-（2回, 120日）
					119, 171	圃場B：0.68 (2回, 119日)	圃場B：0.672/<0.005/-/-（2回, 119日）
					90, 120, 127	圃場C：<0.04	圃場C：<0.02/<0.02/-/-
ゆず （果実）	1	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 400 L/10 a	2	90, 120	圃場A：<0.04	圃場A：<0.02/<0.02/-/-
りんご （果実）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 600 L/10 a	5	21, 28, 45	圃場A：0.589	圃場A：0.556/*0.098/*0.045/-（*5回, 45日）
						圃場B：0.63	圃場B：0.562/*0.124/0.145/-（*5回, 28日）
	4	*50.0% 水和剤*	2000倍希釈 散布 600 L/10 a	5	21, 30, 45	圃場A：0.42 (5回, 21日)(#)	圃場A：*0.384/**0.103/-/-（*5回, 21日） (**5回, 45日)(#)
					21, 30, 44	圃場B：0.292 (5回, 44日)(#)	圃場B：0.098/0.194/-/-（5回, 44日）(#)
					21, 30, 45	圃場C：0.528 (5回, 21日)(#)	圃場C：*0.366/*0.162/**0.125/- (*5回, 21日)(**5回, 30日)(#)
					21, 30, 44	圃場D：0.358 (5回, 21日)(#)	圃場D：*0.330/**0.052/**0.040/*<0.005 (*5回, 21日)(**5回, 45日)(#)
日本なし （果実）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 400, 500 L/10 a	5	21, 28, 45	圃場A：0.311	圃場A：0.306/<0.005/<0.004/-
						圃場B：0.04	圃場B：0.034/<0.005/<0.004/-
	2	*50.0% 水和剤*	2000倍希釈 散布 500 L/10 a	5	21, 29, 44	圃場A：0.04 (5回, 21日)(#)	圃場A：0.038/0.007/-/-（5回, 21日）(#)
					21, 30, 46	圃場B：0.14 (5回, 21日)(#)	圃場B：0.138/<0.005/-/-（5回, 21日）(#)
びわ （果実）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 400 L/10 a	3	7, 14	圃場A：<0.01	圃場A：<0.005/<0.005/-/-
						圃場B：<0.01	圃場B：<0.005/<0.005/-/-
もも （果肉）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 400 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A：0.838 (5回, 7日)	圃場A：*0.750/**0.090/**0.046/<0.005 (*5回, 7日)(**5回, 3日)
						圃場B：0.753 (5回, 3日)	圃場B：*0.572/*0.181/**0.050/<0.005 (*5回, 3日)(**5回, 7日)
もも （果皮）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 400 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A：20.2	圃場A：19.8/*0.43/*0.20/<0.01（*5回, 7日）
						圃場B：44.0	圃場B：43.3/0.70/*0.21/<0.01（*5回, 3日）
いちご （果実）	5	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.97 (3回, 3日)	圃場A：*0.912/0.140/-/-（*3回, 3日）
						圃場B：1.73	圃場B：*1.62/0.194/-/-（*3回, 3日）
						圃場C：1.713	圃場C：1.52/0.193/-/-
						圃場D：0.878	圃場D：0.622/0.256/-/-
						圃場E：4.06	圃場E：3.52/*0.567/-/-（*3回, 3日）
	2		50倍希釈 常温煙霧 5 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A：0.4	圃場A：0.3/<0.1/-/-
						圃場B：0.2	圃場B：0.1/<0.1/-/-
	2	15.0% くん煙剤	製剤 くん煙 10 g/100 m^3	3	1, 3, 7	圃場A：0.14	圃場A：0.123/*0.026/-/-（*3回, 3日）
						圃場B：0.20	圃場B：0.176/*0.050/-/-（*3回, 7日）
ラズベリー （果実）	2	40.0% フロアブル	2000倍希釈 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A：1.9	圃場A：1.84/*0.10/-/-（*3回, 7日）
						圃場B：2.0	圃場B：1.94/*0.23/-/-（*3回, 7日）

<table>
<tr><th rowspan="2">農作物</th><th rowspan="2">試験
圃場数</th><th colspan="4">試験条件</th><th rowspan="2">最大残留量（ppm）注1）</th><th rowspan="2">各化合物の残留量（ppm）
【ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑ/ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑﾌﾟﾛﾊﾟﾉｰﾙ体/代謝物M-36
/代謝物M-37】</th></tr>
<tr><th>剤型</th><th>使用量・使用方法</th><th>回数</th><th>経過日数</th></tr>
<tr><td rowspan="8">ぶどう
（果実）</td><td rowspan="6">6</td><td rowspan="6">40.0%
フロアブル</td><td rowspan="2">2000倍希釈 散布
300 L/10 a</td><td rowspan="2"><u>2</u></td><td><u>30</u>, 45, 60, 80</td><td>圃場A：8.09</td><td>圃場A：7.150/*1.230/*0.035/<0.005
(*2回,60日)</td></tr>
<tr><td><u>30</u>, 45, 60, 67</td><td>圃場B：3.80</td><td>圃場B：*1.020/2.846/0.046/<0.005
(*2回,45日)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2000倍希釈 散布
329-333, 317 L/10 a</td><td rowspan="2"><u>2</u></td><td>28, 42, 56</td><td>圃場C：1.56
(2回,42日)</td><td>圃場C：0.46/1.10/-/-（2回,42日）</td></tr>
<tr><td><u>30</u>, 40, 50</td><td>圃場D：1.52
(2回,40日)</td><td>圃場D：0.62/*0.98/-/-（*2回,40日）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2000倍希釈 散布
300 L/10 a</td><td rowspan="2"><u>2</u></td><td>49, 60</td><td>圃場E：0.609
(2回,49日)</td><td>圃場E：0.465/0.144/-/-（2回,49日）</td></tr>
<tr><td>60, 70</td><td>圃場F：0.116
(2回,60日)</td><td>圃場F：0.008/0.108/-/-（2回,60日）</td></tr>
<tr><td>1</td><td rowspan="2">15.0%
くん煙剤</td><td rowspan="2">製剤 くん煙
20 g/100 m^3</td><td>2</td><td>23, 30, 37</td><td>圃場A：0.41
(2回,37日)(#)</td><td>圃場A：0.334/0.077/-/-（2回,37日）(#)</td></tr>
<tr><td>1</td><td>3</td><td>23, 30, 37</td><td>圃場B：0.18
(3回,23日)(#)</td><td>圃場B：0.159/0.106/-/-（3回,37日）(#)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">かき
（果実）</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">40.0%
フロアブル</td><td rowspan="2">2000倍希釈 散布
400, 600 L/10 a</td><td rowspan="2"><u>5</u></td><td><u>14</u>, 21, 28, 43</td><td>圃場A：0.58
(5回,21日)</td><td>圃場A：*0.226/**0.357/-/-（*5回,21日）
(**5回,43日)</td></tr>
<tr><td>13, 20, 27, 44</td><td>圃場B：0.39
(5回,20日)</td><td>圃場B：*0.298/**0.178/-/-（*5回,13日）
(**5回,27日)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">マンゴー
（果実）</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">40.0%
フロアブル</td><td rowspan="2">2000倍希釈 散布
300, 200 L/10 a</td><td rowspan="2"><u>3</u></td><td rowspan="2"><u>14</u>, 21, 30</td><td>圃場A：<0.4</td><td>圃場A：<0.2/<0.2/-/-</td></tr>
<tr><td>圃場B：<0.4</td><td>圃場B：<0.2/<0.2/-/-</td></tr>
</table>

注１）「最大残留量」欄に記載した残留値は、メパニピリム及びメパニピリムプロパノール体の合計値。各化合物の残留量については、「各化合物の残留量」の欄に示した。メパニピリムプロパノール体、代謝物M-36及び代謝物M-37は、メパニピリム換算値で示した（換算係数はそれぞれ0.92、0.86及び0.93）。

最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注２）(#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
注３）今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

農薬名　　メパニピリム　　　（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
小豆類	0.5	0.5	○			0.14($),0.08(あずき)
えんどう		0.5				
そら豆		0.5				
らっかせい		0.5				
その他の豆類		0.5				
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	3		申			1.05($), 0.89
ねぎ（リーキを含む。）	10	10	○			3.50($),0.31(葉ねぎ)
トマト	5	5	○			2.0,3.5($),0.36,2.45,2.45, 0.72(ミニトマト)
ピーマン	5		申			1.38,2.25
なす	5	5	○			0.47,0.93,2.38($),2.08,0.91
その他のなす科野菜		5				
きゅうり（ガーキンを含む。）	1	2	○			0.17(#),0.23(#),0.399(#),0.396(#), 0.43(#),0.54(#)($)
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	2	5	○			0.62,0.55
しろうり		5				
すいか	0.5	2	申			0.11,0.15($),0.11,0.13
メロン類果実	0.1	2	○			0.02,<0.01
まくわうり		2				
その他のうり科野菜		5				
未成熟えんどう		2				
未成熟いんげん		2				
えだまめ		2				
その他の野菜		5				
みかん	0.1	0.2	○			0.029($), <0.01, <0.02, <0.02
なつみかんの果実全体	1	2	○			0.460,0.312
レモン	2	2	○			(かぼす参照)
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	2	2	○			(かぼす参照)
グレープフルーツ	2	2	○			(かぼす参照)
ライム	2	2	○			(かぼす参照)
その他のかんきつ類果実	2	2	○			0.68($),0.14,<0.04(かぼす) /<0.04(ゆず)
りんご	2	2	○			0.589,0.63
日本なし	1	2	○			0.311($),0.04
西洋なし	1	2	○			(日本なし参照)
マルメロ		2				
びわ	0.05	2	○			<0.01, <0.01
もも	2	2	○			0.838, 0753
ネクタリン		2				
あんず（アプリコットを含む。）		20				
すもも（プルーンを含む。）		20				
うめ		20				
おうとう（チェリーを含む。）		20				
いちご	10	10	○			0.97,1.73,1.713,0.878,4.06($)
ラズベリー	5	20	○			1.9,2.0
ブラックベリー		20				
ブルーベリー		20				
クランベリー		20				
ハックルベリー		20				
その他のベリー類果実		20				
ぶどう	15	15	○			8.09($),3.80,1.56,1.52,0.609, 0.116
かき	2	2	○			0.58($),0.39
バナナ		2				

農薬名　メパニピリム

(別紙2)

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
キウィー		2					
パパイヤ		2					
アボカド		2					
パイナップル		2					
グアバ		2					
マンゴー	1	2	○				<0.4, <0.4
パッションフルーツ		2					
なつめやし		20					
その他の果実		20					
その他のスパイス	10	20	○				5.7($), 4.7, 4.71, 1.52 (みかん(果皮))
その他のハーブ		5					

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値については、網をつけて示した。
申請(国内における登録、承認等の申請、ｲﾝﾎﾟｰﾄﾄﾚﾗﾝｽ申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。
「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内において農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。
($)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

（別紙３）

メパニピリム推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
小豆類	0.5	1.2	0.4	0.4	2.0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	3	28.8	13.2	34.2	27.6
ねぎ（リーキを含む。）	10	94.0	37.0	68.0	107.0
トマト	5	160.5	95.0	160.0	183.0
ピーマン	5	24.0	11.0	38.0	24.5
なす	5	60.0	10.5	50.0	85.5
きゅうり（ガーキンを含む。）	1	20.7	9.6	14.2	25.6
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	2	18.6	7.4	15.8	26.0
すいか	0.5	3.8	2.8	7.2	5.7
メロン類果実	0.1	0.4	0.3	0.4	0.4
みかん	0.1	1.8	1.6	0.1	2.6
なつみかんの果実全体	1	1.3	0.7	4.8	2.1
レモン	2	1.0	0.2	0.4	1.2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	2	14.0	29.2	25.0	8.4
グレープフルーツ	2	8.4	4.6	17.8	7.0
ライム	2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他のかんきつ類果実	2	11.8	5.4	5.0	19.0
りんご	2	48.4	61.8	37.6	64.8
日本なし	1	6.4	3.4	9.1	7.8
西洋なし	1	0.6	0.2	0.1	0.5
びわ	0.05	0.0	0.0	0.1	0.0
もも	2	6.8	7.4	10.6	8.8
いちご	10	54.0	78.0	52.0	59.0
ラズベリー	5	0.5	0.5	0.5	0.5
ぶどう	15	130.5	123.0	303.0	135.0
かき	2	19.8	3.4	7.8	36.4
マンゴー	1	0.3	0.3	0.1	0.3
その他のスパイス	10	1.0	1.0	1.0	2.0
計		718.8	508.1	863.4	842.9
ADI比（%）		17.9	42.2	20.2	20.6

TMDI：理論最大1日摂取量（Theoretical Maximum Daily Intake）
TMDI試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

メパニピリム推定摂取量（短期）：一般(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg 体重/day）	ESTI/ARfD (%)
小豆類	いんげん	0.5	0.5	0.8	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	3	3	16.9	0
	非結球レタス類	3	3	12.1	0
	レタス	3	3	17.2	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	10	10	38.2	1
トマト	トマト	5	5	54.7	1
ピーマン	ピーマン	5	5	12.8	0
なす	なす	5	5	32.3	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	1	1	6.3	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	2	2	19.6	0
	ズッキーニ	2	2	14.5	0
すいか	すいか	0.5	0.5	16.5	0
メロン類果実	メロン	0.1	0.1	1.7	0
みかん	みかん	0.1	0.1	0.9	0
なつみかんの果実全体	なつみかん	1	1	12.4	0
レモン	レモン	2	2	4.2	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	2	2	18.8	0
	オレンジ果汁	2	2	19.9	0
グレープフルーツ	グレープフルーツ	2	2	34.4	1
その他のかんきつ類果実	きんかん	2	2	4.8	0
	ぽんかん	2	2	21.0	1
	ゆず	2	2	3.2	0
	すだち	2	2	3.1	0
りんご	りんご	2	2	28.6	1
	りんご果汁	2	2	21.2	1
日本なし	日本なし	1	1	15.1	0
西洋なし	西洋なし	1	1	14.0	0
びわ	びわ	0.05	0.05	0.4	0
もも	もも	2	2	27.1	1
いちご	いちご	10	10	38.1	1
ぶどう	ぶどう	15	15	202.1	5
かき	かき	2	2	28.6	1
マンゴー	マンゴー	1	1	13.5	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

メパニピリム推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg 体重/day）	ESTI/ARfD (%)
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	3	3	29.5	1
	非結球レタス類	3	3	41.7	1
	レタス	3	3	26.5	1
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	10	10	64.8	2
トマト	トマト	5	5	135.8	3
ピーマン	ピーマン	5	5	32.7	1
なす	なす	5	5	78.2	2
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	1	1	14.6	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	2	2	32.1	1
すいか	すいか	0.5	0.5	43.3	1
メロン類果実	メロン	0.1	0.1	2.9	0
みかん	みかん	0.1	0.1	2.7	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	2	2	53.9	1
	オレンジ果汁	2	2	35.7	1
りんご	りんご	2	2	64.2	2
	りんご果汁	2	2	67.5	2
日本なし	日本なし	1	1	28.8	1
もも	もも	2	2	84.8	2
いちご	いちご	10	10	108.0	3
ぶどう	ぶどう	15	15	459.2	10
かき	かき	2	2	41.8	1

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

（参考）

これまでの経緯

平成　７年１１月２８日	農薬初回登録
平成１７年１１月２９日	残留基準告示
平成２２年　９月　９日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２４年１０月２４日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：レタス）
平成２５年　１月３０日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２７年　４月２４日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ピーマン、すいか）
平成２７年１０月２０日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２８年　７月１２日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成２８年　７月２２日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

穐山　浩	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
石井　里枝	埼玉県衛生研究所化学検査室長
○大野　泰雄	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団理事長
尾崎　博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤　貢一	星薬科大学薬品分析化学教室教授
佐々木　一昭	東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
佐藤　清	一般財団法人残留農薬研究所技術顧問
佐野　元彦	東京海洋大学海洋生物資源学部門教授
永山　敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター基礎薬学部門教授
根本　了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
二村　睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部組合員活動部部長
宮井　俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
由田　克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成　浩一	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授
鰐渕　英機	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学教授

（○：部会長）

答申（案）

メパニピリム

食品名	残留基準値 ppm
小豆類[注1)]	0.5
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	3
ねぎ（リーキを含む。）	10
トマト	5
ピーマン	5
なす	5
きゅうり（ガーキンを含む。）	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	2
すいか	0.5
メロン類果実	0.1
みかん	0.1
なつみかんの果実全体	1
レモン	2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	2
グレープフルーツ	2
ライム	2
その他のかんきつ類果実[注2)]	2
りんご	2
日本なし	1
西洋なし	1
びわ	0.05
もも	2
いちご	10
ラズベリー	5
ぶどう	15
かき	2
マンゴー	1
その他のスパイス[注3)]	10

※今回基準値を設定するメパニピリムとは、メパニピリム及びメパニピリムプロパノール体【1-(2-アニリノ-6-メチルピリミジン-4-イル)-2-プロパノール】（抱合体を含む）をメパニピリムに換算したものの和をいう。

注1）いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。

注2）「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注3）「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。